

やのうら めんぶりゅう こめん  
**龍宿浦の面浮立の古面**

面浮立は、鹿島市やその周辺しゅうへんに伝つたわるおどりです。

この面は、300年ほどまえにつくられました。

「ちいきの神社じんじゃに寝ねぐらをもとめた人が、里人さとびとにお礼れいとして面をほった」

という言いつたえがのこっています。

今では茶色ちゃいろになっていますが、はじめはあざやかな色がぬられていたようです。

どんな色の お面だったのでしょうか。



めすめん  
**雌面**

あぎょう  
**(阿型)**



おすめん  
**雄面**

うんぎょう  
**(吽型)**

鹿島市生涯学習センター・エイブル 床の間コーナー

**がしまのたからもの！ ぬりえ**

せきぞうこまいぬ

# 石造狛犬

所在地 能古見 (下浅浦 救世神社)

これは、<sup>ひぜんこまいぬ</sup>肥前狛犬という とてもめずらしいしゅるいの狛犬です。

多くは、<sup>さがけん</sup>佐賀県や<sup>ながさきけん</sup>長崎県で みつかっています。

1体の大きさは、<sup>たい おお</sup>ランドセルくらいです。

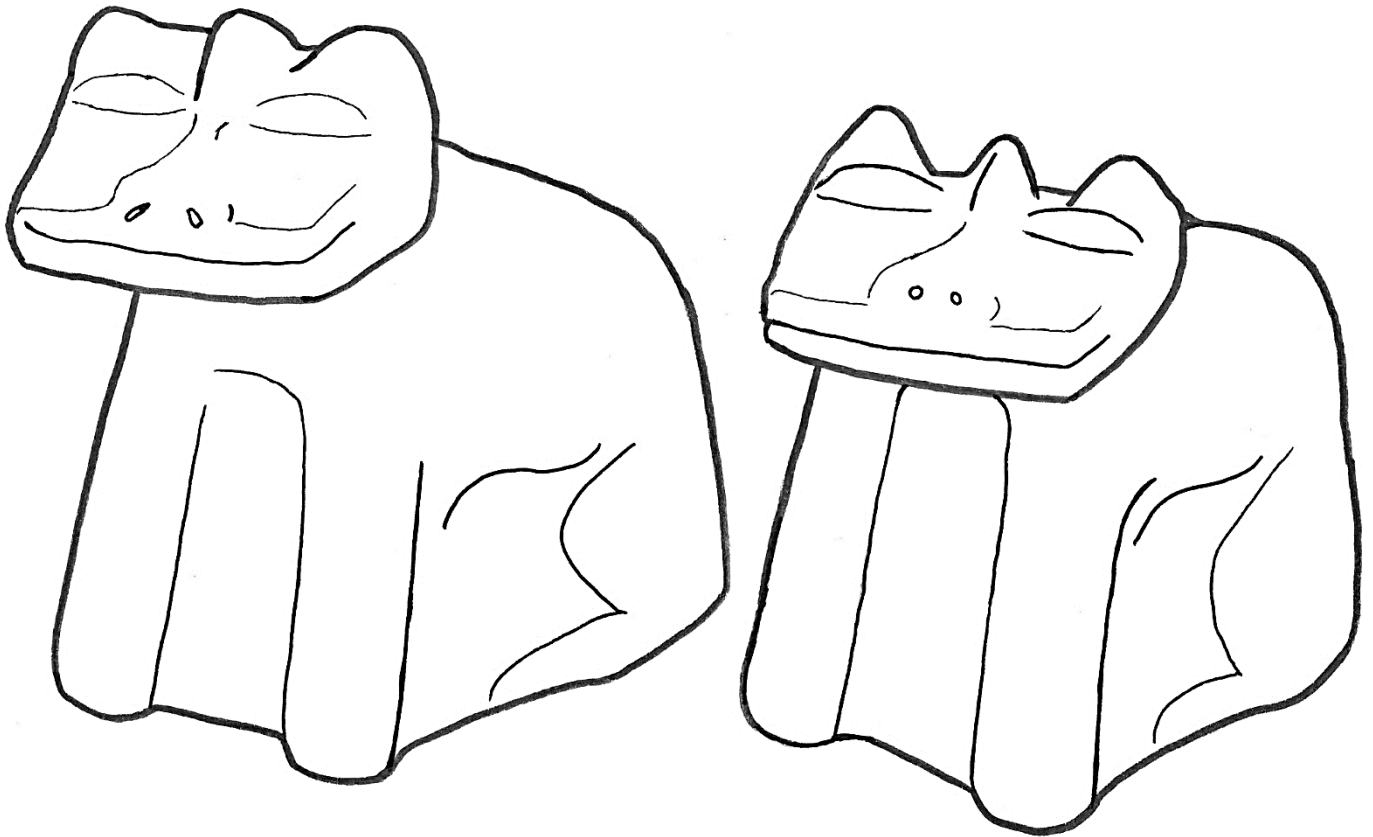
4本の<sup>ほん</sup>あしと <sup>おなか</sup>のあいだは <sup>くりぬ</sup>かれなくて <sup>しかくい</sup>形をしています。

かおは<sup>ひら</sup>平べったく、はなは山の形、口は<sup>いっちょくせん</sup>に 形づくられています。

耳と耳のあいだには、<sup>つのが</sup>1本あります。

400年ほどまえに つくられていて、<sup>もっともふるい</sup>肥前狛犬のひとつです。

すきな<sup>いろ</sup>色でぬってみましょう。



鹿島市生涯学習センター・エイブル 床の間コーナー

かしまのたからもの！ ぬりえ

もくぞうしんぞう

# 木造神像

所在地 古枝（中尾 中尾天満宮）

これは、中尾天満宮にある神さまの姿をした像です。

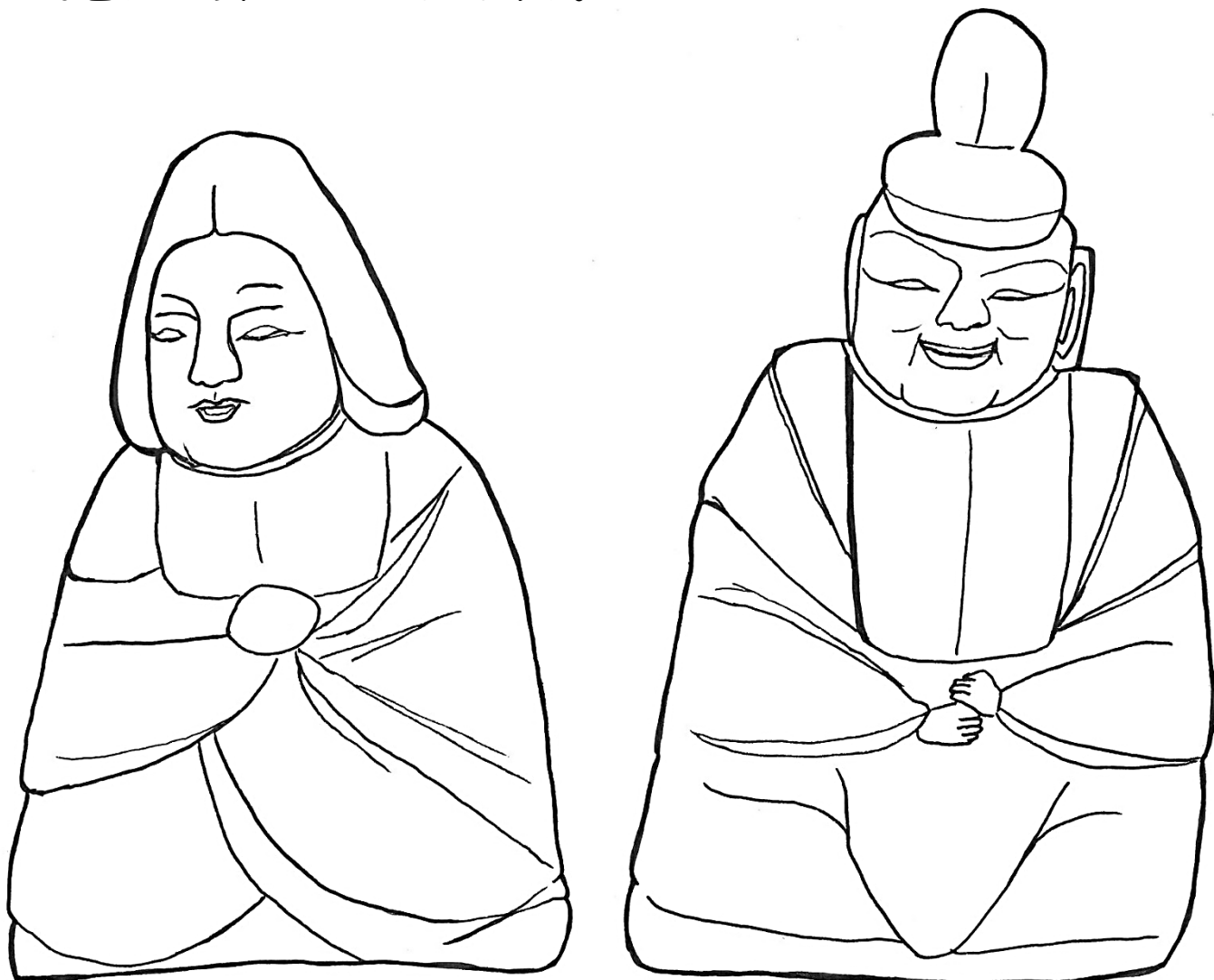
この像に神さまがやどっている信じられています。

像のせなかには「永禄4年」（1561年）と書かれていて、

中尾天満宮ができる100年以上も前につくられていたことがわかります。

1本のくすのきをほってつくられていて、色がぬられていたあとのこっています。

どんな色がぬられていたのでしょうか。



鹿島市生涯学習センター・エイブル 床の間コーナー

かしまのたからもの！ ぬりえ